



～ 地域とともに さらに伸びゆく 鶴田小 ～

つるだ

さつま町立鶴田小学校
学校便り 第7号
R7.12.10発行

感染症予防 ～インフルエンザ流行の時期です～

校長 田畑悦郎

思い起こせば数年前の新型コロナウイルスの流行では、大変な思いや苦労をしました。できること・やるべきことを学校・家庭・地域・行政が協力して感染症を予防し、子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるようにしたいと願っています。

Q1：感染症とは何でしょうか？

学校において予防すべき感染症として、『エボラ出血熱，ジフテリア，コレラ，腸チフス，インフルエンザ等々』が、『感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律』で定められています。これらの病気に罹患すると，本人の回復と流行を防ぐため，出席停止となります（欠席にはなりません。）。



Q2：感染症予防を，学校ではどのように行っていますか？

登校後，朝の会で健康観察を行い，その結果を養護教諭が把握します。もし子どもに異常や異変があれば，担任と連携して対応します。学習指導では，体育の授業の一環である『保健』の学習で，健康な生活についての理解，病気の予防などについて指導します。また，特別活動の授業である『健康で安全な生活態度の形成』における学習の中では，感染症予防について指導します。さらに，これらと関連させながら日常の生活指導において手洗いや換気の習慣づけなどの指導も行っています。

Q3：感染症発生の際，学校はどのように対応するのですか？

児童がインフルエンザ等感染症と分かると出席停止となり，校医の意見をいただきながら，他の子どもの健康状況の観察を行うとともに，ご家庭や関係機関とも連携します。感染者やそれに準ずる症状の児童が一定の割合を越えた場合に，学級閉鎖や学校閉鎖となります。これは，集団感染を防ぐためです。

Q4：保護者が注意することは何ですか？

第一に，日常的にお子さんの十分な睡眠と栄養補給を確保することです。家でも手洗いや換気，人混みを避ける，などを励行することを習慣化しましょう。

北薩地区内でもインフルエンザが流行しています。学校・家庭・地域・行政がワンチームで感染症を予防し，子どもの健康を確保しましょう。また，万が一学級閉鎖や学校閉鎖となった場合，持ち帰ったタブレットでのリモート授業の対応も準備しています。

11月のいじめアンケート

11月は，いじめを1件認知しました。指導を行った上で，現在，経過を見守っています。

県民週間

1・2年生は自分たちの祖父母に来ていただいて、昔の遊びをしたり、歌を歌ったりしました。3～5年生は湯田区、神子区、鶴田区の老人会の方々をお招きしてグラウンドゴルフをしながら交流しました。6年生はさつま町の歴史について学ぶために、歴史資料センターの方に校区内の史跡を案内していただきました。とても貴重な経験になりました。

子ども達のために、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



1・2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

木工教室（3年生）



さつま町農林課と森と木の研究所の方々と講師にお招きして、イスを作りました。子ども達は大喜びでした。ありがとうございました。

学校運営協議会



今回は、給食の試食や授業参観もしていただきました。熟議の内容は防災キャンプについてしました。簡易トイレ、非常食、家具安全対策ゲーム、炊き出し体験、しきり柵の組み立て体験や役場や消防署、地域との連携等について話し合いました。

これから、熟議を重ね、来年度に実施できるよう取り組んで参ります。

1月の主な行事予定

- 8日(木)：始業式
- 14日(水)：鹿児島学力・学習状況調査（～15日）
- 15日(木)：学校運営協議会
- 16日(金)：家庭教育学級
- 20日(火)：NRT学力検査（～21日）
PTA常任委員会
- 29日(木)：新入学児入学説明会・ふれあい活動

お話コンサート



11月のCSの日は、小原先生夫妻によるピアノ伴奏に合わせて読み聞かせ等をしていただきました。子ども達はとても楽しい時間を過ごせました。
ありがとうございました。